

西宮市のヒメタイコウチ

田 中 稔

1982年5月4日、自宅附近(西宮市上ヶ原九番町)を犬と散歩中に、田んぼの土手を歩行中のヒメタイコウチ *Nepa hoffmanni* Esaki を発見したので、附近の導水路に落ちているナイロン袋の下で、2♂♂4♀♀を採集したので報告する。この水路は仁川より導水されたもので、仁川上流の甲山湿地には本種がかなり産する。

本種を糸ミミズのエサで、水ゴケを入れた水槽で飼育していると、5月29日水ゴケの上に白色のイソギンチャクのような卵を20卵程産卵したが、雨水によりつかってしまい孵化は見られなかった。

兵庫県におけるキバラヘリカメムシの分布

高 橋 寿 郎

キバラヘリカメムシ (*Plinactus bicoloripes* Scott) の前胸背の側角に、前上方に向う鋭いトゲのある個体があることを長谷川仁氏はとりあげられて、特にこの型は関西以南に分布するらしいと記しておられる(インセクトリウム, Vol. 9, No. 10, P. 263, 1982)。そしてこの型は近年中国で記載された *Plinactus dissimilis* Hsiao に当るらしいとも述べておられる。手許にある“中国蟻類昆虫鑑定手冊、第一冊、1977”にはこの両者が図説されていて(P. 246, pl. 44, f. 578, 579)、後者の分布は中国大陸の中央部に広くいるようになっている。特長はやはり前胸背の側角の前上方に向う鋭いトゲの有無である。

元来この種は兵庫県下ではそれ程普通にいないのか記録がほとんどない。注意が足りないのかも知れない。筆者の手許にも僅か18exs.しか無い。ところでこの内2exs.は明らかに前胸背の側角に上方に向う鋭いトゲを有する個体である。そこで僅かの個体であるが県下の本種の分布状況の推測を混えて解説をしてみたい。

まづ兵庫県下におけるキバラヘリカメムシの産地を記録と一緒に記して見る(筆者所有標本にはデータをつけた)。産地：洲本市先山〔堀田, 1978〕、西宮市岡田山〔女学院, 1974〕、神戸市六甲山〔長谷川, 1982〕、鳥原(1♂, 5-V-1968, 1♀, 28-V-1972, 1♀, 21-III-1974, 1♀, 3-W111-1974, 1♂, 3♀, 10-V111-1974, 1♂, 2♀, 18-V111-1974, 1♀, 2-V1-1978, 1♀, 28-V1-1982, 1♂, 15-V11-1982, 1♂, 29-X-1982)、垂水(1♀, 23-IX-1979)、穴栗

郡赤西(1♀, 3-V1-1979), 美方郡扇ノ山[高橋, 1975]。

以上のごとくで記録は少いが県下に広く分布しているようだと言うことは良くわかる。

さて前胸背の側角に前上方に向う鋭いトゲのあるものは筆者は県下産を次のように所有している。即ち、宍粟郡福知深谷(1♀, 16-V1-1975, M. Yuma leg.), 美方郡湯村(1♀, 3-V1-1952), 長谷川氏は六甲山で8月に採集したキバラヘリカメムシの中にはトゲのあるものも混入していたと記しておられる。筆者は六甲山系でこのトゲのある方は採集していない。こちらの方も兵庫県下でどの様に分布しているのかこの僅かの例では見当がつかない。少くとも3ヶ所の産地からすれば県下全般に分布している種のように思はれる。

また長谷川氏によると8月末頃から11月にかけて採集される個体は肢の基部が紅色で5月から7月にかけて採れたものは黄色であると記しておられる。所有標本全部を調べたところでは8, 9月採集の標本はきれいな紅色で, 3~7月採集したものは黄色(7月のものは黄部がやゝ黒色であった)であった。

確かに兵庫県下には前胸背側方にトゲをもったものもっていないもの2種が分布しているわけでこの2種がどの様に県下に分布しているのかはもっと詳しい調査をしてみないとわからない。それと兵庫県下に於けるこのカメムシは年2回発生しているのだろうと思うがこちらも現在では良くわからない。採集もの今の所3~9月しか得ていなく(1982年10月29日長い継ぎ竿の網で樹の梢をユスってみたところ大変きれいな1♂が入って来た。その付近を何度かやって見たが1♂だけだった), 恐らく成虫越冬であろうから10月以後の成虫の採集がもっとあってよいと思はれる(東京では10月以降2回目の成虫が出るとのこと)。このあたりの調査もやらなくてはと考える。食草はツルウメモドキ, マサキ, ツリバナ, マユミ, コマユミ, ニシキギ等が知られている。又卵, 幼虫1~5令の図説が後藤 伸氏によってされている(四国昆虫学会々報, Vol. 3, No. 4: 55-57, 1952)。

オオツノカメムシ神戸市内での記録(追加)

高 橋 寿 郎

先号(Vol. 10, No. 2)でオオツノカメムシの記録を報告させて頂いたが松本健嗣氏がコレクションを整理していたら神戸市内で次の2♀を採集していると賀状で御教示頂いた。珍しい種であるから記録を発表しておく。御連絡頂いた松本氏に厚く御礼申しあげる。

採集地: 神戸市山の街(1♀, 22-V11-1974), 金剛童子山(1♀, 23-V-1974), 共に松本健嗣氏採集, 同氏所有。